

形成計画の目標到達状況について

目 標	指 標	指標設定時	平成27年度 の状況	平成28年度 の状況	平成29年度 の状況	平成30年度 の状況	令和元年度 の状況	令和2年度 の状況	目標値 (令和6年度)
まちづくりの軸となる 利便性の高い公共 交通ネットワークを 形成する	「離島を除く地域拠点（都市核・地域核・生活核）が鉄道又は路線バスで結ばれている」割合を維持する	100% (H26年)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	「通勤・通学における公共交通（鉄道・バス等）の利用率（分担率）」を維持・増加させる	18.5% (H22年) 国勢調査より		次回の調査はR2年					19.0%
	「交通不便地区対策の実施箇所数」を増やす	3か所 (H26年) 中通、大野、世知原	3か所	5か所 (追加) 三川内、小佐々	6か所 (追加) 柚木	9か所 (追加) 江迎、吉井、黒髪	9か所	9か所	11~12か所
複数モードの連携により公共交通ネットワーク全体の利便性を確保する	「複数の交通モード間の連携策」を増やす -①複数交通モード間の連携に関する情報提供等の取り組み件数 -②複数交通モード間の利用における割引制度等の導入件数 -③パーク＆ライドの件数	9件 (H26年) ②サンキューバス・スマートカード・観光バスポート③6件	10件 (追加) ②高速バスと路線バス、観光バスと路線バスの企画切符の導入	11件 (追加) ②西肥バス定期利用者対象のMR連携サービス（社会実験）	12件 (追加) ①MR佐々駅・佐々バスターミナルにおける連絡ダイヤの調整	13件 (追加) ③MR相浦駅の遊休駐車場を松浦鉄道が黒島・高島観光客用の臨時駐車場として提供	13件 ※黒髪デマンドタクシーにおける、結節点（黒髪バス停）の追加を行った	14件 (追加) ①「ニモカ」全国相互利用交通系ICカード導入バス・鉄道等で共通して利用できる	19件
利便性を維持した持続可能なバス事業を実現する	「乗合バス路線における実車走行キロあたり利用者数」（運行効率を表す指標）を維持・増加させる	1.31人/キロ (H25年度) 事業者データ合計値	1.33人/キロ (H27年度) 事業者データ合計値	1.35人/キロ (H28年度) 事業者データ合計値	1.36人/キロ (H29年度) 事業者データ合計値	1.36人/キロ (H30年度) 事業者データ合計値	1.32人/キロ (R1年度) 事業者データ合計値	1.10人/キロ (R2年度) 事業者データ合計値	1.48人/キロ
	「乗合バス事業の収支率（経常収益÷経常費用、補助金を除く）」を改善する	94.4% (H25年度) 事業者データ合計値	94.3% (H27年度) 事業者データ合計値	94.6% (H28年度) 事業者データ合計値	91.9% (H29年度) 事業者データ合計値	91.1% (H30年度) 事業者データ合計値	88.6% (R1年度) 事業者データ合計値	70.0% (R2年度) 事業者データ合計値	100%
公共交通の利用促進・需要創造を推進する	「地域が連携して企画・実現した利用促進の取り組みの数」を増やす	0件 (H26年)	0件	0件	2件 (H29年) ①公共交通ふれあいフェスタでの市内周遊モデルコースチラシを県立大学生が作成 ②MR相浦駅リニューアル	3件 (追加) ママパパとの意見交換をきっかけに路線バス内でのベビーカーベルト導入	3件	3件	8件
	「通勤・通学における公共交通（鉄道・バス等）の利用率（分担率）」を維持・増加させる	18.5% (H22年) 国勢調査より		次回の調査はR2年					19.0% (R2年)
	「通勤・通学定期券・敬老福祉特別乗車証以外の利用者（来訪者含む）」を維持・増加させる	1100万人/年 (H25年度) 事業者データ合計値	1079万人/年 (H27年度) 事業者データ合計値	808万人/年 (H28年度) 事業者データ合計値	756万人/年 (H29年度) 事業者データ合計値	729万人/年 (H30年度) 事業者データ合計値	614万人/年 (R1年度) 事業者データ合計値	444万人/年 (R2年度) 事業者データ合計値	756万人/年
	(参考) 利用者全体	1963万人 うち上記割合 56.0%	1882万人 うち上記割合 57.3%	1817万人 うち上記割合 44.5%	1737万人 うち上記割合 43.5%	1673万人 うち上記割合 43.6%	1527万人 うち上記割合 40.2%	1192万人 うち上記割合 37.2%	